

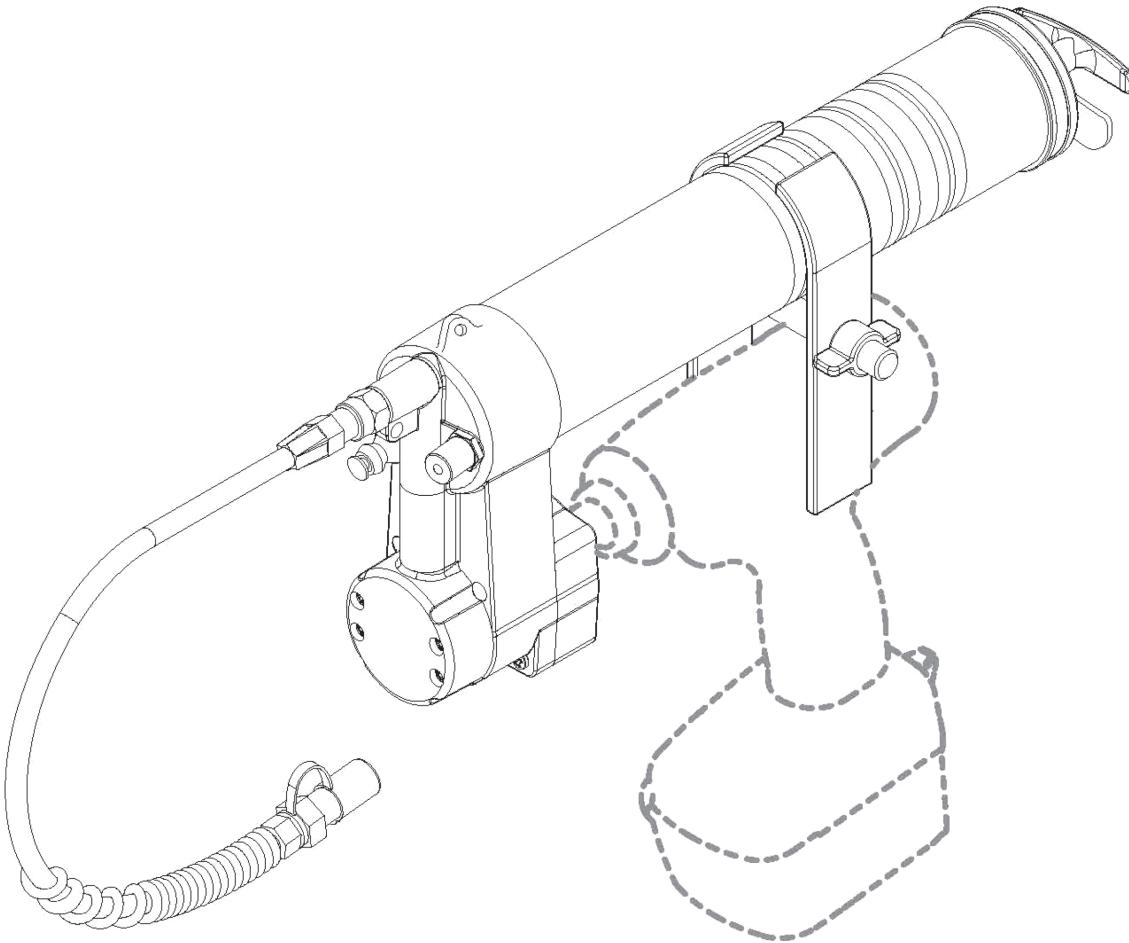
取扱説明書



ユニバーサル式グリースガン

注文コード: 50620999

このたびは、ユニバーサル式グリースガンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。使用をされる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を充分にご理解をされたうえで、適切な取扱いと保守をして頂きますようお願い申し上げます。



身の安全を守るため、使用前に必ず本取扱説明書をよく読み、充分にご理解されたうえで使用してください。
今後の参照のため、本取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

お使いになる前に

【安全にお使いいただくために】

- 本取扱説明書を最後までお読みいただき、本製品の性能を充分にご理解の上、ご使用してください。また、本取扱説明書の指示に従い適切な取扱いと保守をしていただきますようお願い申し上げます。本取扱説明書に記載する指示に従わない場合、感電・火災または人身事故につながることがあります。
- 本製品は、安全に責任を負う人の監視又は指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）の単独での使用、及び取扱いに不慣れな人や、正しい操作ができない人は使用しないでください。今後の参照のため、本取扱説明書はお手元に大切に保管してください。
- 本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険が及ぶ可能性を防止するために、下記の安全に関する重要な内容を必ずお守りください。
- 本製品に装着する、動力工具（別売り）の取扱説明書をよくお読みになり、それぞれの性能を充分にご理解の上、正しくご使用ください。

△ 警告

この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は、
死亡や重症などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

△ 注意

この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は人的傷害や製品の破損、
その他の物的損害へつながる可能性があります

A. 作業環境に関する安全事項

△ 警告

1. 作業場を清潔に保ち、十分に明るくします。
片付いていないまたは暗い作業場では事故が生じやすくなります。
2. 作業中は、子供など作業者以外を作業場に近づけないでください。
気を散らす要因があると、作業に集中できなくなり傷害を負わせる原因になります。

B. グリース取扱上の注意事項

△ 警告

1. 本製品にグリースを充填するときは、皮膚に触れさせないように注意してください。
皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。
2. グリースを取扱う際には保護メガネを使用してください。
目に入ると炎症を起こすことがあります
3. グリースを取扱う際には保護手袋を使用してください。
皮膚に直接触れないようにしてください。皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。
4. 子供の手の届かないところに保管してください。

〈応急処置〉

- 目に入った場合は、清浄な水で十分に洗浄し、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、水と石鹼で十分に洗ってください。
- 飲み込んだ場合は、無理に吐かせずに直ちに医師の診断を受けてください。

〈廃グリース・廃機器の処理〉

- 廃グリース・廃機器の処理は、法令に従い適正に処理してください。

〈保管方法〉

- グリースが充填されたグリースガンは、直射日光を避け暗所に保管してください。

C. 作業者に関する安全事項

⚠ 警告

1. 本製品を使用する際は適切な保護具（保護メガネ・保護手袋）を着用して作業を行ってください。
保護具を着用せずに作業を行うと、思わぬケガや事故に繋がるおそれがあります。
2. 適切な服装をしてください。ゆったりとした衣服や装身具を着用しないでください。
髪、衣服、手袋を可動部に近づけないでください。
ゆったりした衣服、宝飾品、または長い髪は、可動部分に引っかかるおそれがあります。

D. ご使用と手入れに関する安全事項

⚠ 警告

1. 本製品を操作する際はグリース吐出口、圧抜き口に顔や手を近づけないでください。
エア混じりの材料が噴出する恐れがあり、失明や手の負傷に繋がるおそれがあります。
2. 本製品のグリース吐出口を自分の手や人に向けないでください。
自分の手、または人に向けて吐出させるとケガをすることがありますので絶対に止めてください。

△ 注意

1. 本製品はホースの脱着を除き分解しないでください。
機器の破損、損傷などの原因となります。
2. 本製品は防水仕様ではありません。
雨がかかる場所や結露しやすい場所に放置しないでください。
また濡れた手で本機を触らないでください。感電の原因となります。
3. ホースを過度に折り曲げないでください。
グリースが正常に吐出されなくなる原因になります。
また折れ癖がついた場合は、新品と交換してください。
4. グリースがなくなった状態で空運転を続けないでください。
本製品の故障原因となりますので絶対に行なわないでください。
5. 使用条件によっては本製品が熱くなる場合があります。
その場合、本製品が十分冷却されるまで本製品に触れないでください。
熱くなった本製品に触ることでヤケドを負うおそれがあります。
6. 本製品を使用する前に、製品本体にキズがないか、
ホースにヒビや劣化がないか確認を行ってください。
製品にキズがあったり、ホースが劣化していたりすると人身事故の原因となるおそれがあります。
7. 本製品を清掃する際はガソリンや有機溶剤を絶対に使用しないでください。
製品の故障や事故の原因となるおそれがあります。
8. 本製品を廃棄する場合も、本製品内に残った材料を除去したうえで、
法規に従って処分してください。
9. 本製品を使用、保管する際は常に汚れを拭取り、
手を滑らせて地面に落とさないよう注意して取扱ってください。
製品が落下することで製品が破損し漏洩や誤作動を起こすおそれや、
製品を落とすことで足をケガするおそれがあります。
10. 本製品を清掃する際は乾いた布に中性洗剤を軽く染み込ませ、拭取ってください。
グリースが付着したまま清掃を行うとグリースが排気穴を塞いだり、
内部に入り込んだりすることで、本製品の故障や人身事故の原因となるおそれがあります。
11. 本製品を保管する際はゴミや埃が入らないように注意してください。
本製品にゴミや埃が入ると本製品の故障やグリースアップを行う際にゴミが入り、
相手部品の故障に繋がるおそれがあります。

【仕様】



図1 ユニバーサル式グリースガン

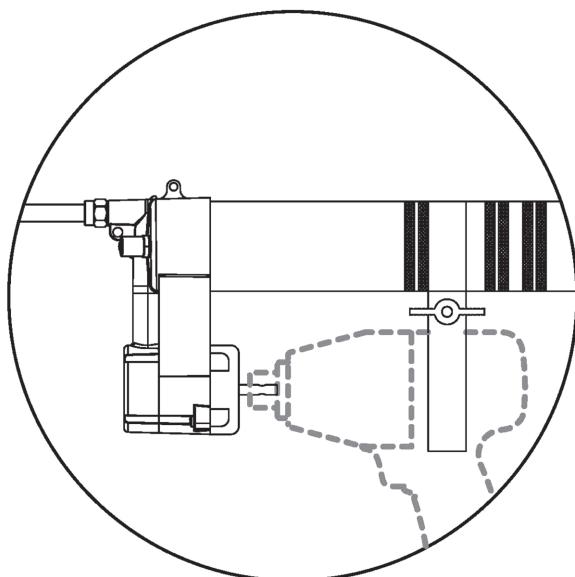


図2



(動力工具は含まれていません)

図3

ユニバーサル式グリースガンは、あらゆる種類のAC電源、DC電源、空気圧の動力工具を簡単に装着できます。

- 電動または空圧動力工具が使用できます。
連続的に強力に給脂できます。
- アルミニウム製のコンテナチューブで、軽量で、耐久性があり作業時間を短縮できます。
- トリガーが押されると、連続的に給脂できます。
- 最大 55MPa の高圧性能。
* 推奨作動圧力：27MPa。
- 建設車両、機械、自動車、農園用機器、レクリエーションビークルなどの給脂に最適です。
- エアベントバルブとフィラープラグが装備されています。
- 操作中にトリガーを完全に押す必要があります。
- 使用できる動力工具

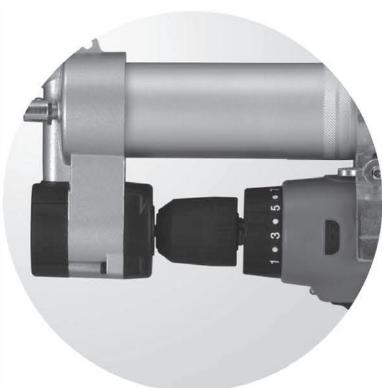


図 4

ドリルドライバー
(キーレスチャック
タイプ)



図 5

インパクト
ドライバー
(六角ドライブ
シャンクチャック)

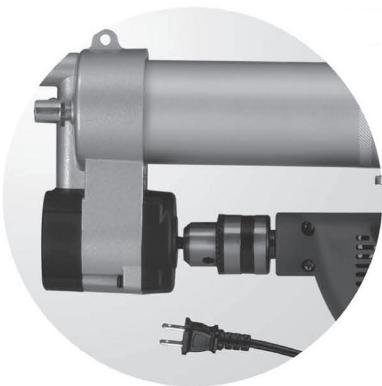


図 6

電気ドリル
(キーレスチャック
タイプ)



図 7

エアードリル
(キーレスチャック
タイプ)

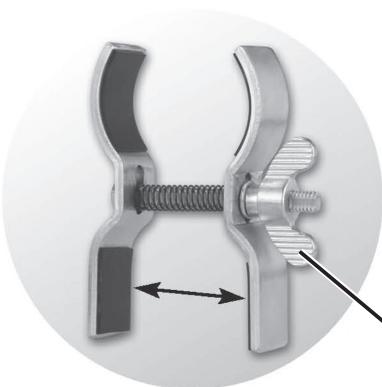


図 8

ホルダー

電動工具用の内
幅の許容範囲は
3.8cm~7.6cm

バタフライロック
プラグ

- 動力工具は別売です。
- 容量 : 400g / 400 cc
- 3通りの装填方法 : カートリッジ / ディスペンサー / バルク

【機器の内容】

ボックスパック :

- ① グリースボディ
- ② AW-401 (46cm) 高圧ナイロンホース
- ③ ホルダー
(動力工具は含まれません)

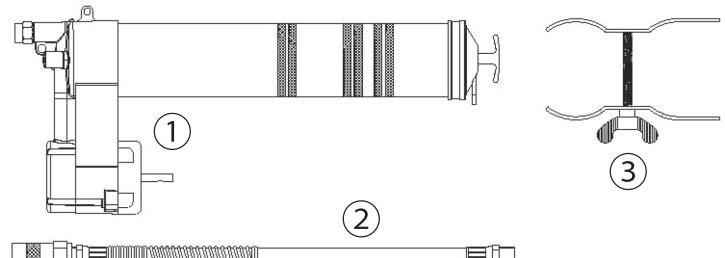


図 9

⚠ 警告

1. 重傷または施設の損傷を避けるため、操作時に推奨圧力を超えないようにして下さい。
2. このユニバーサル式グリースガンを使用する前に、動力工具の安全指示書をお読みください。

【各部の名称】

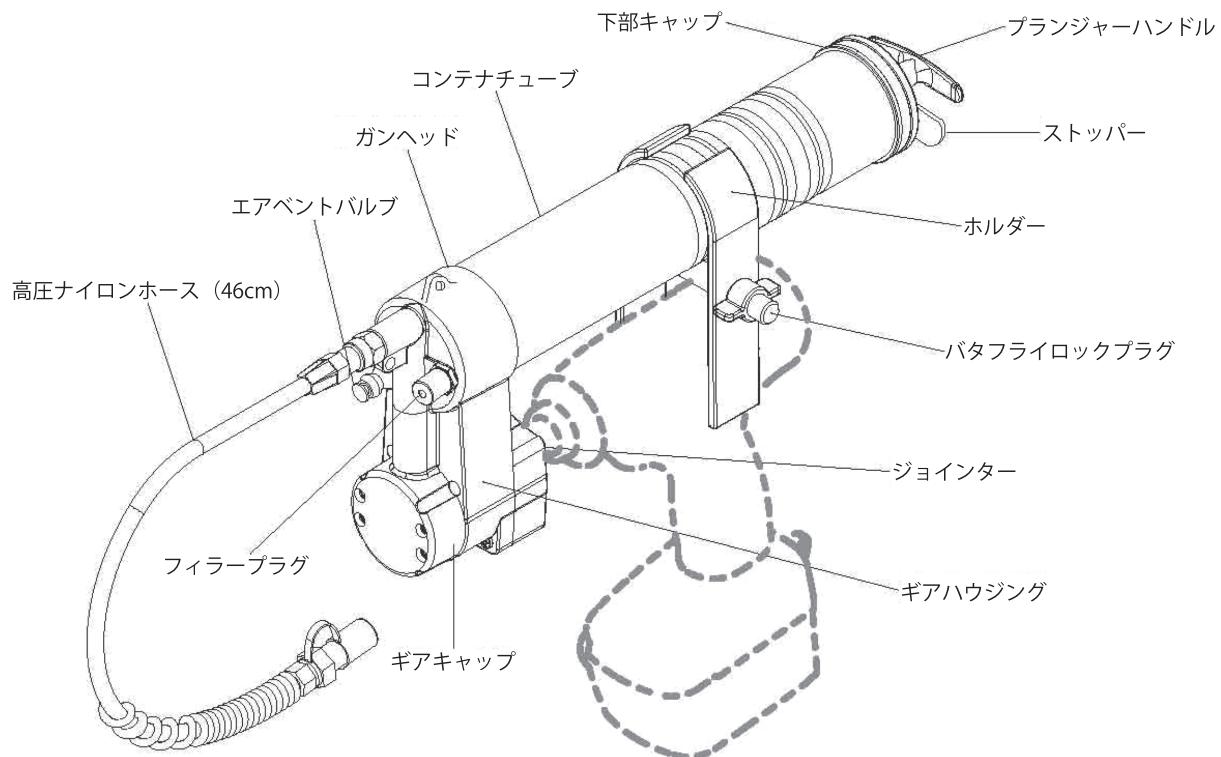


図 10 部品名

■組立方法

1. グリースガンを組み立てる前に、コンテナチューブにグリースを充填します。
2. 動力工具に取り付けられているドリル、ビットなどを取り外します。
3. 動力工具のチャックをジョインター部から 8mm 離して装着し、チャックを確実に締めます。
4. ホルダーのバタフライロックプラグを外し、動力工具のチャック部とジョインター部が水平になるようにホルダーを取り付け、バタフライロックプラグを締めます。
(動力工具装着用ホルダーの内幅の許容範囲は 3.8cm~7.6cm です)
5. ガンヘッドのグリース吐出口部にホースを取り付けます。

【操作】

■使用前

作業エリアを点検して、ゴミや散らかりがないことを確認します。 不必要な人員がいないようにします。 照明と換気が適切であることを確認してください。

■操作

1. 動力工具を「正転」モードに設定します。「逆転」モードは推奨しません。
2. ドリル、ビット、または部品を使用している動力工具に取り付け、必要に応じてコンテナチューブからエアを排出します。
3. 吐出口の出口を取付具に挿入します。
4. トリガーを完全に押して、作業を開始します。
スイッチ操作：
トリガースイッチを押すと、ツールが回転します。
トリガースイッチを放すと、ツールが停止します。
5. 操作の終了
事故の発生を防ぐため、事前にバッテリーパックまたはエアソースを外してください。

⚠ 警告

深刻な怪我や設備の損傷を避けるため、操作時に推奨圧力を超えないようにしてください。
このユニバーサル式グリースガンを使用する前に、動力工具の安全指示マニュアルを注意深くお読みください。

⚠ 注意

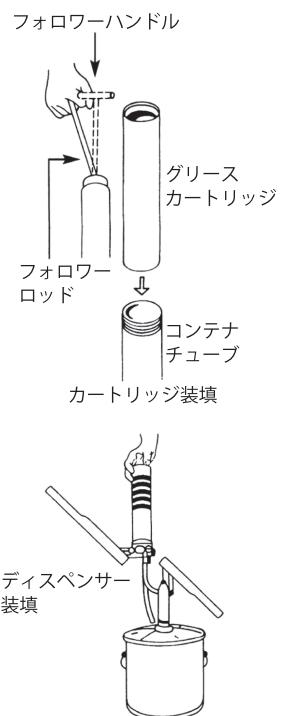
1. 怪我の危険を減らすために、可動部品に手を近づけないでください。
2. 給脂が完了したらトリガーを放します。押し続けると、モーターが過熱し、モーターと機械部品の損傷を引き起こすおそれがあり、怪我を引き起こすおそれがあり危険です。

【グリースガンの3通りの注入手順】

■マルチロードグリースガンの手順

カートリッジの装填

- (ステップ1) ガンヘッドとプランジャーアセンブリをコンテナチューブから取り外します。
- (ステップ2) 空のカートリッジを取り外すには、フォロワーロッドが完全に伸びるまで
フォローハンドルを引き戻します。次に、フォローハンドルを慎重に離して、
空のカートリッジをコンテナチューブから取り出します。
フォローハンドルを引き戻します。フォロワーロッドが完全に伸びたら、
横に動かしてロッドの溝をコンテナキャップの鍵穴スロットにはめ込みます。
- (ステップ3) カートリッジの両端からキャップを取り外し、金属の縁が外に出るように、
カートリッジの開口端をコンテナチューブに挿入します。
- (ステップ4) ヘッドとコンテナチューブを緩く組み立てます。レバーガンハンドルを
コンテナチューブから引き離し、フォロアロッドをコンテナキャップから外します。
フォローハンドルを回して、フォロワーロッドをフォロワーに固定します。
- (ステップ5) ヘッドとプランジャーアセンブリからコンテナチューブを1~2回転緩め、
ガンヘッドの出口から潤滑剤が出てくるまでフォローハンドルに力を加えます。
コンテナチューブをヘッドとプランジャーアセンブリに締めます。
- (ステップ6) フォローハンドルを回して、フォロワーからフォロワーロッドを外します。
フォロワーロッドをコンテナに押し込みます。次に、吐出口を組み立て、
ガンヘッドの先端にねじ込みます。
- コンテナチューブに挿入されたグリースカートリッジの端が、リムで破損したり折りたたまれたりしておらず、正確に丸い形状であることを確認してください。プランジャーラバーがグリースカートリッジに侵入することができず、グリースを押し出すことができません。
 - 空のグリースカートリッジを使用した後、再度使用しないでください。
 - プランジャーラバーにグリースを塗布すると、グリースカートリッジに簡単に入りります。



推奨事項：

- カートリッジ装填方法を使用する場合、ゴムプランジャーが変形し、グリースカートリッジの内部に長時間押し込まれたり、一定期間グリースに浸されて収縮するおそれがあります。
- この場合、装填方法をディスペンサー装填またはバルク装填に変更すると、通常、少量のグリースが容器チューブの底から染み出します。
- 上記の現象を防ぐには、長期間使用する適切な充填方法を決定し、その方法をずっと使ってください（グリースの種類によって異なります）。（複数の装填方法を交互に使用しないでください!!）
- これでグリース漏れの悩みは解決です。

ディスペンサーの装填

- (ステップ1) ヘッドアセンブリからスロット付きプラグを取り外し、
使用中のポンプに適合する適切なローダー取り付け具を挿入します。
- (ステップ2) グリースガンのレベルを伸ばし、ローダーの取り付け具を
ポンプアダプターに挿入して充填します。

注：バルク充填するときは、使用済みのカートリッジを常にガンから取り外してください。

バルク装填

大さじまたは木べらによる充填

- (ステップ1) ガンヘッドをコンテナチューブから取り外します。
- (ステップ2) プランジャーハンドルを完全に引き戻します。
空のコンテナチューブに緩いグリースを充填します。
- (ステップ3) ガンヘッドをコンテナチューブに再度組み付けます。
プランジャーロッドを放します。プランジャーハンドルを押し下げます。

〈重要〉

- ガンから吐出できなくなった場合、グリースエアポケットが原因です。

吐出をよくするには：

- コンテナチューブを1~2回転緩めます。
ロッドを引き抜き、ロッドをコンテナチューブに押し込んでエアポケットを排出します。
- プランジャーロッドを完全に引き戻し、すばやく離します。数回繰り返します。
力が加わり、ゴム製プランジャーがカートリッジに入り、エアポケットを押し出します。
- プランジャーロッドを奥まで押し込み、ヘッドをコンテナチューブに締めます。



【トラブルシューティング】

■コードレスグリースガンシリーズ

問題	1. 工具は通常の動作で動くが、出力がない。
考えられる原因	<ul style="list-style-type: none">・コンテナチューブ内のエアポケット。
対処方法	<ul style="list-style-type: none">・ガンヘッドから吐出口を外す。 　　ガンヘッドからコンテナチューブを1-2回転して外す。・プランジャーロッドを引き抜き、プランジャーロッドをコンテナチューブに押し込み、エアポケットを押し出す。・プランジャーロッドを完全に引き戻し、すばやく放す。・ハンドルを押して、グリースが途切れずにスムースに流れることを確認する。・必要に応じて上記の手順を繰り返す。・コンテナチューブをガンヘッドにしっかりと締め直す。・吐出口をしっかりと再度ねじ込む。
問題	2. プランジャーがグリースカートリッジに入らない。
考えられる原因	<ul style="list-style-type: none">・カートリッジのサイズが標準ではない。・カートリッジの端が粗い、または不規則。
対処方法	<ul style="list-style-type: none">・カートリッジのサイズが仕様に合っているか確認する。・プランジャーまたはカートリッジの端の周囲にグリースを塗り、カートリッジが入りやすいようにする。・常に標準サイズのカートリッジを使用する。カートリッジの端が損傷したり折れておらず、丸い形状になっていることを確認する。 　　標準サイズではない場合、プランジャーラバーがグリースカートリッジに入らないため、カートリッジからグリースを押し出すことができません。・空のグリースカートリッジを再使用しないこと。・バルク充填するときは、使用済みのカートリッジをコンテナチューブから取り外す。
問題	3. ガンヘッドの出口からの漏れ。
考えられる原因	<ul style="list-style-type: none">・吐出口がしっかりと装着されていない。
対処方法	<ul style="list-style-type: none">・ねじのサイズはテーパー設計になっており、漏れ防止機能がある。 　　手だけでなくツールで適切にねじ込むことにより、漏れ防止性能が向上する。

■エアグリースガンシリーズ

問題	1. ツールが邪魔になり、吐出ができない。
考えられる原因	<ul style="list-style-type: none"> ・エアモーターのオイル不足。
対処方法	<ul style="list-style-type: none"> ・空気取入口から数滴のオイルを満たし、数分間動作させる。
問題	2. ツールは通常の速度で動作するが、グリースは排出されない。
考えられる原因	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテナチューブ内のエアポケット
対処方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ガンヘッドから吐出口を外す。 ・ガンヘッドからコンテナチューブを1-2回転して外す。 ・プランジャーロッドを引き抜き、プランジャーロッドをコンテナチューブに押し込み、エアポケットを押し出す。 ・プランジャーロッドを完全に引き戻し、すばやく放す。 ・トリガーを押して、グリースが途切れずにスムースに流れることを確認する。 ・必要に応じて上記の手順を繰り返す。 ・コンテナチューブをガンヘッドにしっかりと締め直す。 ・吐出口をしっかりと再度ねじ込む。
問題	3. 工具の動作が遅い、または良好に動作しない。
考えられる原因	<ul style="list-style-type: none"> ・エアモーターにほこりが詰まっている。 ・電源レギュレータが閉位置。 ・汚れによって空気の流れが妨げられている。
対処方法	<ul style="list-style-type: none"> ・空気取入口フィルターの詰まりがないか確認する。 ・指示に従って、エアツール潤滑剤を空気取入口に注入する。 ・必要に応じて、ツールを短時間、素早く反転させ、前後に回転させる。 ・必要に応じて上記を繰り返す。

問題	4. プランジャーがグリースカートリッジに入らない。
考えられる原因	<ul style="list-style-type: none"> カートリッジのサイズは標準でない。 カートリッジの端が粗い、または不規則。
対処方法	<ul style="list-style-type: none"> カートリッジのサイズが仕様に対応していることを確認する。 プランジャーとカートリッジの端の表面にグリースを塗り、カートリッジに簡単にに入るようする。 常に標準サイズのカートリッジを使用する。 カートリッジの端が損傷したり折れておらず、丸い形状になっていることを確認する。標準サイズでない場合、プランジャーラバーがグリースカートリッジに入らないため、カートリッジからグリースを押し出すことができません。 空のグリースカートリッジを再使用しないこと。 バルク充填するときは、使用済みのカートリッジをコンテナチューブから取り外す。

問題	5. ガンヘッドの出口からの漏れ。
考えられる原因	<ul style="list-style-type: none"> 吐出口がしっかりとねじ込まれていない。
対処方法	<ul style="list-style-type: none"> ねじのサイズはテーパー設計になっており、漏れ防止機能がある。手だけでなくツールで適切にねじ込むことにより、漏れ防止性能が向上する。